

名古屋市における道路整備の計画について 【改訂版】



名古屋市

目 次

I	総論	1
II	道路事業における基本方針	2
III	基本方針に資する主な事業中箇所	15
IV	指定都市高速道路事業	47

I 総論

1 計画策定の趣旨

道路事業においては、現下の社会経済情勢を踏まえた戦略的・計画的な取組が求められていることや、今般、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による国費率のかさ上げ措置が2018年から10年間継続されたことも併せて、より一層計画的かつ効率的に取り組むことが重要です。

そうした背景の中、名古屋市では市の総合計画である「名古屋市総合計画2023」においてまちづくりの方向性を明確化するとともに、本市のめざす都市像を実現するために取り組む施策等を明示しております。

本計画は、そのうち総合計画における道路事業等に関するものに着目し、それらの基本方針や実施状況について明示したものになります。

2 対象の期間

2018年～2027年までの10年間

なお、本計画は予算や事業の進捗等を踏まえて、随時見直しを行う予定です。

2019年3月 策定

2020年3月 改訂

2021年3月 改訂2版

Ⅱ 道路事業における基本方針

基本方針 1 災害に強い都市基盤の整備を進めます (名古屋市総合計画 2023 施策 16)

(1) 施策の柱

・地震に強い都市基盤の整備

南海トラフ巨大地震などの大規模地震に備え、市設建築物や橋りょう、地下鉄構造物、上下水道施設、河川堤防などの都市基盤施設の耐震化に取り組みます。特に、緊急輸送道路においては、橋りょうの耐震化や電線類の地中化を推進し、災害時の機能確保を進めます。

(2) 現状と課題

① 現状

平成 23 (2011) 年 3 月の東日本大震災、平成 28 (2016) 年 4 月の熊本地震、平成 30 (2018) 年 6 月の大阪府北部の地震、9 月の北海道胆振東部地震など、大規模地震とそれに伴う津波等により、全国各地で多大な被害が生じています。

また、南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後 30 年以内に 70～80%と切迫度を増しており、本市では発生時に最大の死者数が約 6,700 人、最大の建物全壊・焼失棟数が約 66,000 棟という甚大な被害が想定されています。

② 課題

大規模地震発生時の被害を抑えるため、行政による一層の都市基盤施設の耐震化が求められています。

(3) 施策を推進する事業

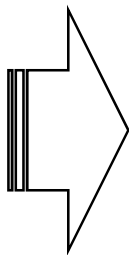
① 地震に強い都市基盤の整備

・橋りょうの耐震化

災害時に緊急車両・物資の輸送ルートを確保するため、緊急輸送道路等の橋りょうの耐震補強や改築を実施。



新藤森橋（整備前）



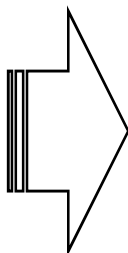
新藤森橋（整備後）

- ・電線類の地中化

災害時における緊急輸送道路・避難空間の確保や消火・救助活動の円滑化、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成のため、電線共同溝をはじめとした多様な整備手法による電線類の地中化を実施。



江川線（整備前）



江川線（整備後）

基本方針２ 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます (名古屋市総合計画２０２３ 施策１９)

(１) 施策の柱

・交通事故のない地域づくり

「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づく自転車安全適正利用を促進するほか、交通事故危険箇所の重点的な交通安全対策を進めます。

(２) 現状と課題

① 現状

市内における交通事故死者数は、平成 30 (2018) 年は 55 人 (前年比 16 人増) となっています。中でも、高齢者は交通事故の被害者に占める割合が高く、今後の高齢化の進行に伴い、加害者に占める割合も高くなることが予測されます。

② 課題

交通事故発生の原因や実態に即した効果的な対策を行うことにより事故を防止するとともに、これまで以上に、高齢者が交通事故の被害者及び加害者とならないような対策に力を入れていくことが求められています。

(３) 施策を推進する事業

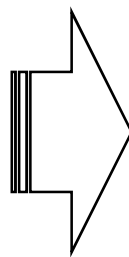
① 交通事故のない地域づくり

・交通事故危険箇所の交通安全対策

交通事故を無くすため、交通事故の発生またはそのおそれがあり、対策を実施する必要がある箇所において、道路の状況やこれまでの事故の形態に応じ、道路のカラー化等の交通安全対策を重点的に実施する。



栄交差点（整備前）



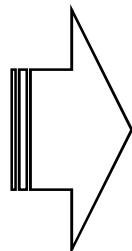
栄交差点（整備後）

- ・通学路等安全対策の実施

通学路や未就学児が日常的に集団で移動する経路等の安全を確保するため、道路管理者、交通管理者及び学校関係者等が通学路等を点検し、交通安全対策を実施。



平田小学校（整備前）



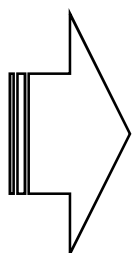
平田小学校（整備後）

- ・高速道路ナンバリング

高速道路に路線番号を付すことにより、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現を目指し、高速道路の路線番号を用いるナンバリングを実施。



県道名古屋津島線（整備前）



県道名古屋津島線（整備後）

基本方針３ 公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりを進めます (名古屋市総合計画２０２３ 施策２５)

(１) 施策の柱

- ・まちのにぎわいを創出するみちまちづくりの推進

都心部における新たな路面公共交通システム(SRT)の導入や幹線道路の歩行者空間の拡大、自動車の都心部への集中緩和などにより、豊かな道路空間を人が主役の「みち」へと転換し、歩いて楽しいにぎわいのある「まち」に変えていく「みちまちづくり」を推進します。

(２) 現状と課題

① 現状

- ・リニア中央新幹線の開業に向け、都心では公共空間の再編・再生が進んでいるほか、民間による開発が進められています。

② 課題

- ・道路空間の再生と一体的に、都心の魅力ある地点をつなぎ、楽しく快適に移動できる交通環境を整備することにより、回遊性やまちのにぎわいの向上が必要です。

(３) 施策を推進する事業

① まちのにぎわいを創出するみちまちづくりの推進

- ・都心部幹線道路の歩行者空間拡大等の推進

人が主役の道路空間の実現のため、広小路通や南大津通などの都心部幹線道路の歩行者空間拡大等を検討・実施。



都心の道路空間の再生イメージ

基本方針４ 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します (名古屋市総合計画２０２３ 施策２６)

(１) 施策の柱

・市街地の整備・再生

駅そば市街地のうち、道路や公園などの都市基盤の整備が不十分な地域において、土地区画整理事業により都市基盤の整備改善や宅地の利用増進をはかります。また、拠点市街地のうち、都市機能の更新が必要な地域において、市街地再開発事業により土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新をはかるなど、適切な事業手法により市街地の整備・再生を進めます。

・自動車交通の円滑化

機能的な都市活動と安心・安全な市民生活を確保するため、都市計画道路の整備を進めるなど、自動車交通の円滑化に取り組みます。

(２) 現状と課題

① 現状

- ・都市基盤の整備が不十分な地域や、都市機能の更新が必要な地域において、土地区画整理事業や市街地再開発事業等により、市街地の整備・再生に取り組んでいます。
- ・幹線街路の整備状況は他都市に比べて高い水準にありますが、地域によっては整備の遅れや踏切による渋滞発生、生活道路への通過車両の侵入などが見られます。

② 課題

- ・志段味地区をはじめ、現在施行中の土地区画整理事業では、必要な都市基盤の整備や改善を効率的に進め、事業を早期に完了させることで良好な居住環境の創出をはかる必要があります。また、鳴海駅前地区では、市街地再開発事業の推進により敷地の共同化や高度利用にあわせた、さまざまな都市機能の集積による地域の活性化が求められています。
- ・人口減少などの社会経済情勢の変化や厳しい財政状況を踏まえ、選択と集中のもと、重点的、効果的に道路整備を推進するため、事業未着手の都市計画道路の見直しを着実に実施する必要があります。また、都市計画道路の整備や道路と鉄道の立体交差化により、自動車交通の円滑化をはかる必要があります。

(３) 施策を推進する事業

① 市街地の整備・再生

・土地区画整理事業の推進

道路や公園などの都市基盤が十分に整っていない地域において、公共施設の整備改善や宅地の利用増進をはかるため、土地区画整理事業を推進。

・市街地再開発事業の推進

名鉄鳴海駅周辺において、居住環境を改善し、地区の活性化をはかるため、公共施設や商業・業務施設、住宅施設等を整備。

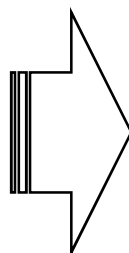
② 自動車交通の円滑化

・都市計画道路の整備

交通の円滑化や機能的な都市活動と安全・安心な市民生活の確保をはかるため、都市計画道路の整備を推進。



名古屋岡崎線（整備前）



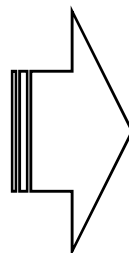
名古屋岡崎線（整備後）

・道路と鉄道の立体交差化の推進

地域分断の解消や交通の円滑化をはかるため、道路と鉄道の立体交差化を推進。



名鉄名古屋本線（整備前）



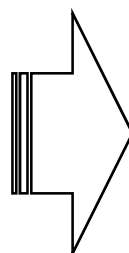
名鉄名古屋本線（整備後）

・橋りょうの整備

地域分断や渋滞の解消など交通の円滑化をはかるとともに、災害時に緊急車両・物資の輸送ルートを確認するため、都市計画道路や緊急輸送道路等の橋りょうの新設、改築を実施。



三階橋（整備前）



三階橋（整備後）

基本方針５ 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します (名古屋市総合計画２０２３ 施策２７)

(１) 施策の柱

- ・安心して歩ける歩行空間の確保と自転車通行空間の整備

放置自転車の撤去や自転車駐車場の整備、柔軟な料金制度の採用による自転車駐車場の利用促進などにより、安心して歩ける歩行空間を確保するとともに、自転車を安全で快適に利用できるよう、自転車道・自転車通行帯などの自転車通行空間の整備を進めます。

- ・都心部自転車対策の推進

都心部において、路上自転車駐車場整備などの対策を進めるとともに、自転車の所有から共有への転換による放置自転車等の台数削減や、まちの回遊性向上などが期待できるコミュニティサイクルについて、仕組みや効果などを十分に考慮し、導入に向けての検討を行います。

(２) 現状と課題

① 現状

- ・駅周辺における放置自転車等の台数は、対策の実施により平成 29 (2017) 年度で 1.4 万台とピーク時の昭和 62 (1987) 年度の約 5 分の 1 まで減少してきており、一定の効果が得られていますが、一部の地域では、いまだに放置自転車によって通行障害や景観の悪化を招いています。また、近年環境負荷の低減や健康志向の高まりを受け、交通手段として自転車が見直されています。しかし、自転車の通行空間の整備がまだ十分ではないことなどから、平成 28 (2016) 年において市内で発生した自転車に関連する交通事故件数は 3,111 件あり、全交通事故に占める自転車関連事故の割合は 22.9%と、全国の割合 (18.2%) よりも高くなっています。
- ・都心部においては、地域の意向を確認しながら路上自転車駐車場の整備を進めていますが、いまだ十分な駐車台数を確保するには至っておらず、放置自転車が多く存在しています。一方、今後交流人口の増加などが見込まれる中で、環境負荷が低く、手軽で利便性の高い自転車の利用については、まちの回遊性向上につながる都心部の交通手段として、今後も大きな需要が見込まれています。

② 課題

- ・引き続き、放置自転車の撤去や自転車駐車場の整備推進などにより、安心して歩ける歩行空間の確保を進めるとともに、歩行者と自転車が互いに安心して通行することができる、安全で快適な道路環境づくりを進めることが求められています。
- ・引き続き、路上自転車駐車場の整備を推進するとともに、交通手段としての自転車の利便性を確保しながら、都心部における放置自転車の台数削減につながる新たな自転車利用の仕組みづくりを進めることが求められています。

(3) 施策を推進する事業

① 安心して歩ける歩行空間の確保と自転車通行空間の整備

・適正な自転車駐車の推進と自転車通行空間の整備

歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境づくりに貢献するため、放置自転車等の撤去等を実施するとともに、自転車の安全で快適かつ適正な利用に向け、自転車通行空間の整備により、道路空間の中で歩行者、自転車、自動車の構造的・視覚的な分離を実施。



県道名古屋瀬戸線（整備前）



県道名古屋瀬戸線（整備後）

② 都心部自転車対策の推進

・都心部自転車対策の推進

都心部において、歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境づくりに貢献するため、路上自転車駐車場整備などの対策を推進するとともに、民間主体によるコミュニティサイクルを導入。

基本方針 6 世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます (名古屋市総合計画 2023 施策 33)

(1) 施策の柱

- ・世界に誇れる都心のまちづくりの推進

リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進し、高い機能性を有した新時代の交流拠点を創出するとともに、栄地区では、世界に誇れるシンボル空間を形成するなど、国際的・広域的な都市機能の強化や象徴的な都市空間の形成をはかります。

- ・名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの早期形成

リニア中央新幹線の開業が予定されている名古屋駅や日本のゲートウェイである名古屋港・中部国際空港へのアクセスの向上により、名古屋大都市圏の発展を支えるため、名古屋環状 2 号線や名古屋高速道路をはじめとする高速道路ネットワークの早期形成と利便性の向上をはかります。

(2) 現状と課題

① 現状

- ・リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺地区から伏見地区へと続いている大規模な民間再開発の流れが、機能更新の時期を迎えた栄地区へと波及しつつあります。また、名古屋駅周辺に続き、栄ミナミや長者町界限など、都心の各所において、本格的なエリアマネジメントの取り組みが始まるなど、地域関係者が中心となったまちづくりが活性化しています。
- ・名古屋高速道路が全線開通し、現在は名古屋環状 2 号線など広域交通基盤の整備が進められています。

② 課題

- ・リニア中央新幹線の全線開業により形成されるスーパー・メガリージョンの中心に位置する交流拠点として、ストロー現象などの影響を最小限に抑え、開業によるプラスの効果を最大限に活用する必要があります。そのため、圏域の成長をけん引する都心機能の強化や、民間投資の誘導など地域のまちづくりをより活性化する取り組みを行うとともに、リニア中央新幹線の速達性を最大限に活かす交通結節機能の強化をはかる必要があります。
- ・名古屋大都市圏の中核都市として、圏域の国際競争力強化向上に向け、名古屋駅と、世界と名古屋を結ぶ窓口となる名古屋港・中部国際空港や市域外の拠点都市とのアクセスを支える道路ネットワークを形成し、国際的・広域的な拠点機能・交流機能を高めることが必要です。

(3) 施策を推進する事業

① 世界に誇れる都心のまちづくりの推進

- ・名古屋駅ターミナル機能の強化

リニア中央新幹線の開業により形成されるスーパー・メガリージョンの中心拠点にふさ

わしい交通機能と空間機能を兼ね備えたスーパーターミナルの実現のため、駅へのアクセス性の向上や交通結節機能の強化、ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成を実施。

- ・ リニア駅周辺の面的整備

名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい魅力や風格のある駅前空間を形成するため、リニア駅の上部空間を有効に活用するとともに、周辺の面的整備を実施。

- ・ ささしまライブ 24 地区・名駅南地区へのアクセス改善の推進

名古屋駅周辺の国際競争力の向上をはかるため、名古屋駅からささしまライブ 24 地区や名駅南地区へのにぎわい創出とあわせたアクセス改善を推進。

- ・ ささしまライブ 24 地区の整備

国際歓迎・交流拠点の形成をめざした官民連携によるまちづくりを推進するため、土地区画整理事業による道路・公園などの都市基盤整備や親水空間の整備を推進。

- ・ 都市計画道路笹島線（東側区間）の整備

名古屋駅周辺に集中する自動車交通に対応するため、自動車ネットワークを強化し、名駅通に集中する交通の分散をはかる笹島線（東側区間）の整備を推進。

- ・ 栄地区まちづくりプロジェクトの推進

都心部の核である栄地区において、多様な主体との連携のもと、にぎわいに満ちた空間づくりを進めるため、栄地区まちづくりプロジェクトを推進。

② 名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの早期形成

- ・ 名古屋高速道路の利便性の向上

名古屋高速道路のさらなる利便性の向上をはかるため、名古屋環状 2 号線西南部・南部の整備にあわせた連絡路の整備、高速道路出入口の追加・改良等による駅とのアクセス性の向上、環境への配慮を含めた適正な維持管理などを実施。

- ・ 名古屋環状 2 号線の整備促進

名古屋環状 2 号線が名古屋高速道路とともに名古屋大都市圏の道路網の骨格を形成し、環状道路として迂回機能を発揮するため、専用部（西南部・南部区間）と一般部 4 車線化の整備促進の要望活動と関係機関との調整を実施。

基本方針 7 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます (名古屋市総合計画 2023 施策 45)

(1) 施策の柱

- ・施設の長寿命化と保有資産量の適正化

公共施設が本来の機能を十分に発揮できる状態を保てるよう、市設建築物のリニューアル改修や、公共土木施設の計画的・効率的な維持管理や改修といった施設の長寿命化に取り組むとともに、市設建築物については、施設の集約化・複合化や民間活力の活用など、適正な保有資産量の実現に向けた取り組みを進めます。あわせてこれらを着実に進めるため、長寿命化に向けた対策内容やその実施時期等を取りまとめるほか、保有資産量の適正化に向けた今後の施設のあり方についても検討するなど、アセットマネジメントの取り組みを推進します。

(2) 現状と課題

① 現状

本市の保有する学校・市営住宅などの市設建築物は、昭和 40 年代から 60 年代を中心に、道路・河川・公園などの公共土木施設は、昭和 30 年代から集中的に整備されてきており、経過年数の増加に伴う修繕、改修などが必要となる施設の増加が見込まれます。

② 課題

今後とも厳しい財政状況が続くことが見込まれ、人口減少や人口構造の変化などを踏まえて、公共施設を健全な状態に保ち、安心・安全で適切なサービスを継続的に提供していくためには、施設の長寿命化による経費の抑制と平準化とともに、市設建築物について、保有資産量の適正化を進める必要があります。

(3) 施策を推進する事業

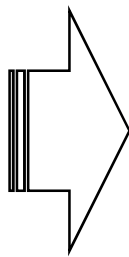
① 施設の長寿命化と保有資産量の適正化

- ・道路の維持・補修

車道舗装や歩道橋をはじめとする道路附属物等の計画的な維持管理のため、点検及び劣化状況に応じた適切な補修を実施するとともに、ヒートアイランド現象や騒音などの都市の環境に応じた舗装材の検討を実施。



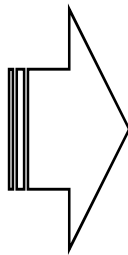
山手植田線（修繕前）



山手植田線（修繕後）



西稲永荘前横断歩道橋（修繕前）



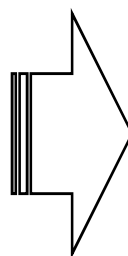
西稲永荘前横断歩道橋（修繕後）

・道路橋の維持・補修

道路橋の計画的な維持管理及び長寿命化による維持管理経費の抑制と平準化を行うため、定期的な点検による健全度の把握を行うとともに、点検結果に基づき予防保全型の補修を実施。



五月橋（修繕前）



五月橋（修繕後）

Ⅲ 基本方針に資する主な事業中箇所

Ⅱで示したそれぞれの基本方針に資する事業について、整備計画を策定し計画的かつ効率的に事業を実施しております。

表－１ 整備計画一覧

整備計画名	期間	全体事業費※ ¹
① 名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施※ ^{2,3}	H28～R2	15,175 百万
② 名古屋市における総合的な道路の老朽化対策	H29～R3	14,587 百万
③ 名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備	H29～R3	4,880 百万
④ 名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備※ ²	H31～R5	2,962 百万
⑤ 名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備※ ²	H28～R2	25,252 百万
⑥ 名古屋市における交通の安全確保と円滑化を図る総合的な踏切道の対策※ ^{2,3}	H28～R2	9,464 百万
⑦ 既成市街地における居住環境の向上と防災性の確保	H27～H31	3,676 百万
⑧ 名古屋市における高速道路 IC（新設）へのアクセス強化に資するまちづくり※ ²	H28～R2	2,617 百万
⑨ 名古屋市における無電柱化の推進（防災・安全）（無電柱化推進計画支援）※ ^{2,3}	H31	987 百万
⑩ 市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保※ ²	R2～R6	2,121 百万
⑪ 魅力と活力にあふれるまちの実現	H28～R2	7,281 百万
⑫ 『世界に冠たる NAGOYA』を実現する都心部のまちづくり	R2～R6	19,033 百万
⑬ 名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備※ ²	H3～R7	10,441 百万

※¹ 全体事業費は整備計画の期間内における事業費

※² 名古屋市地域強靱化計画関連事業

※³ ①⑥⑨については、整備計画期間終了に伴い、個別補助事業に移行

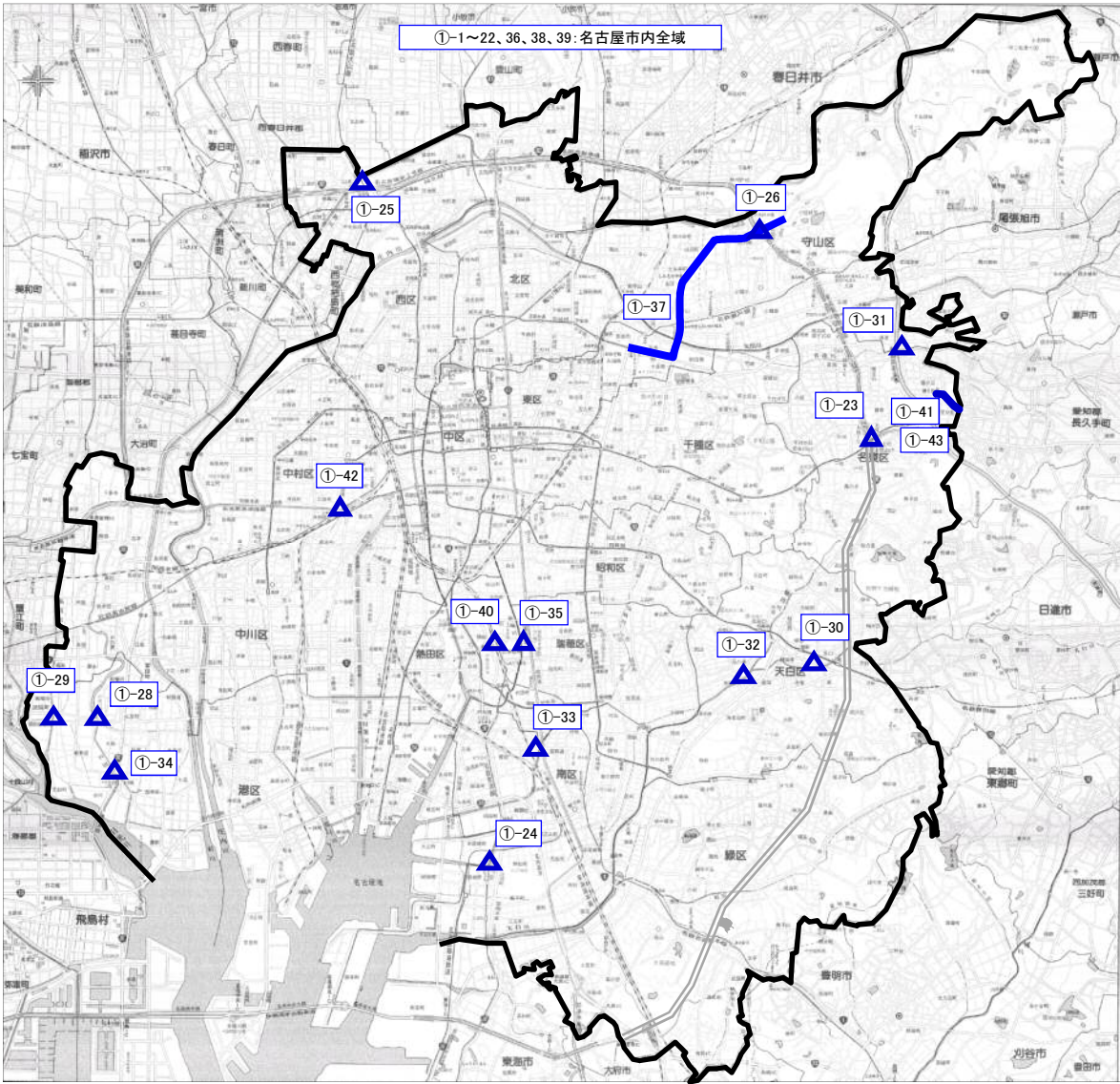
各整備計画の詳細については次頁以降にお示しします。なお、整備計画内の事業箇所における凡例は以下のとおりとなっております。

（国）：国道 （県）：県道 （市）：市道 （主）：主要地方道 （都）：都市計画道路

また、今後の都市計画道路の整備にあたっては、現在事業中の整備進捗を図りつつ順次事業に着手するものとしております。詳しくは「未着手都市計画道路の整備について（第2次整備プログラム）」をご参照ください。<http://www.city.nagoya.jp/jigyoku/category/39-4-16-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

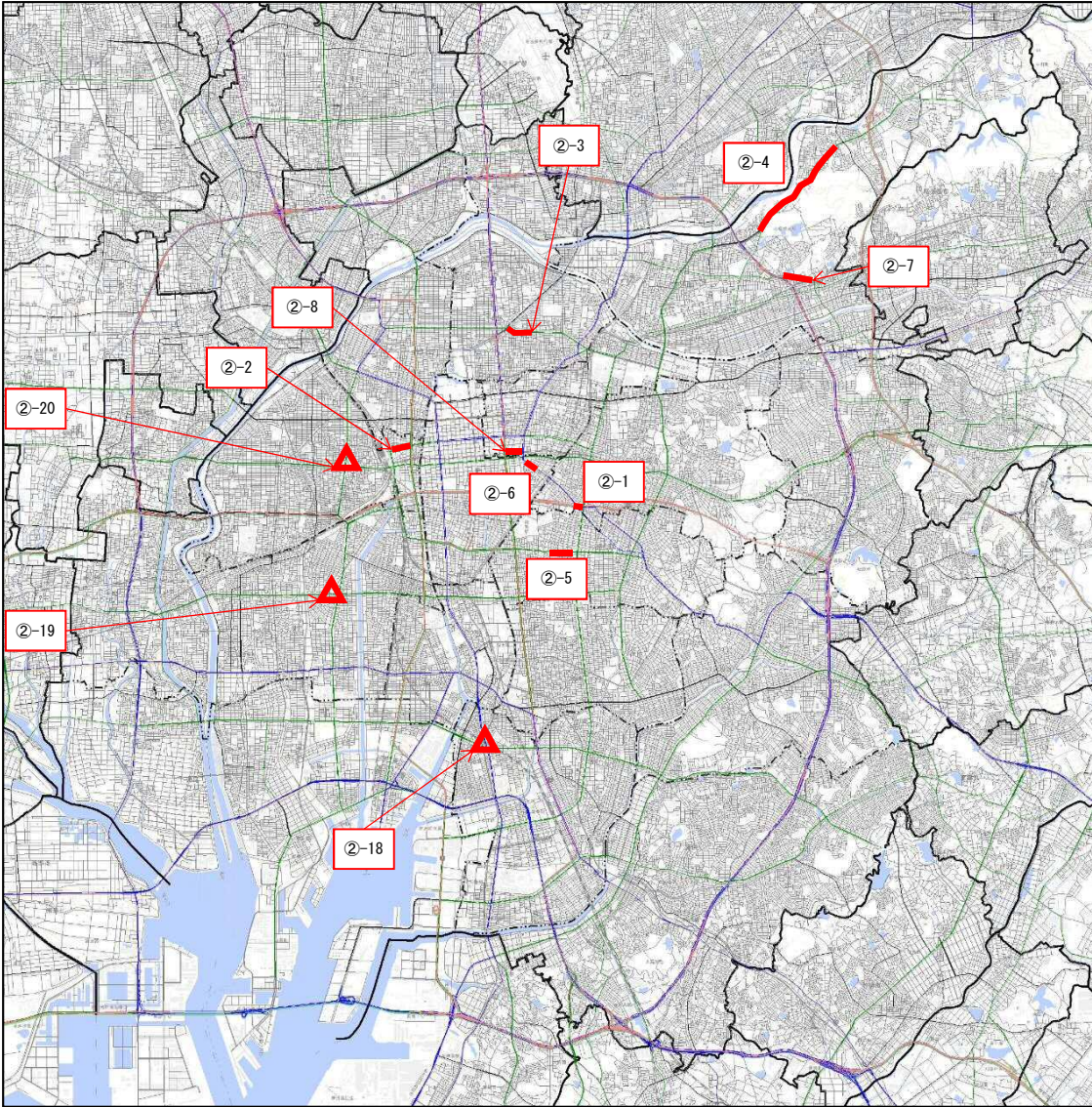
整備計画の名称	①名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施（防災・安全）							
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）							
全体事業費※1	15,175百万円							
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
1	（国）橋梁点検	橋梁点検						29
2	（県）橋梁点検	橋梁点検						363
3	（市）橋梁点検	橋梁点検						997
4	（国）横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						17
5	（主）横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						69
6	（主）横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						118
7	（国）門型標識等点検	門型標識等点検						2
8	（県）門型標識等点検	門型標識等点検						2
9	（市）門型標識等点検	門型標識等点検						9
10	（県）大型カルバート点検	大型カルバート点検						2
11	（市）大型カルバート点検	大型カルバート点検						3
12	（国）247号ほか	橋梁修繕 10橋						300
13	（主）名古屋中環状線ほか	橋梁修繕 23橋						600
14	（主）名古屋環状線ほか	橋梁修繕 327橋						2,230
15	（国）247号ほか	横断歩道橋修繕						187
16	（主）名古屋多治見線ほか	横断歩道橋修繕						1,113
17	（主）名古屋環状線ほか	横断歩道橋修繕						1,478
18	（国）247号ほか	門型標識等修繕						2
19	（主）弥富名古屋線ほか	門型標識等修繕						1
20	（主）山王線ほか	門型標識等修繕						10
21	（主）名古屋江南線ほか	大型カルバート修繕						6
22	（市）万場藤前線第10号ほか	大型カルバート修繕						6
23	（主）名古屋長久手線（上社陸橋）	修繕・耐震補強 L=0.33km						20
24	（国）247号（港東橋）	修繕・耐震補強 L=0.06km						530
25	（主）名古屋江南線（新平田橋）	修繕・耐震補強 L=0.04km						110
26	（県）守山西線（東山跨道橋）	修繕・耐震補強 L=0.06km						480
27	（県）岩崎名古屋線（落合橋）	修繕・耐震補強 L=0.04km						812
28	（主）名古屋十四山線（新東福橋）	修繕・耐震補強 L=0.10km						511

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	①名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施（防災・安全）
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）
	

整備計画の名称		②名古屋市における総合的な道路の老朽化対策						
整備計画の期間		平成29年度　～　令和03年度　（5年間）						
全体事業費※		14, 587百万円						
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H29	H30	H31	R02	R03	
1	（国）153号ほか(1緊)	舗装修繕　L= 3. 3km						306
2	（主）名古屋津島線ほか(1緊)	舗装修繕　L=11. 0km						1, 056
3	（主）名古屋環状線ほか(1緊)	舗装修繕　L= 5. 1km						568
4	（主）名古屋多治見線ほか(2緊)	舗装修繕　L=34. 1km						2, 600
5	（主）山王線ほか(2緊)	舗装修繕　L=26. 8km						1, 900
6	（国）153号	舗装修繕　L= 0. 9km						95
7	（主）名古屋中環状線ほか	舗装修繕　L=15. 9km						1, 073
8	（市）錦通ほか	舗装修繕　L=55. 8km						4, 522
9	（国）路面性状調査	路面性状調査						3
10	（県）路面性状調査	路面性状調査						42
11	（市）路面性状調査	路面性状調査						125
12	（国）路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						5
13	（県）路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						34
14	（市）路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						51
15	（国）路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						7
16	（県）路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						47
17	（市）路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						71
18	（国）247号ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						5
19	（主）弥富名古屋線ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						55
20	（主）名古屋環状線ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						110
21	（国）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						36
22	（県）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						472
23	（市）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						1, 264
24	（市）道路附属物等点検	自動車駐車場専用橋点検						4
25	（主）関田名古屋線	道路排水施設改良						26
26	（主）名古屋環状線ほか	道路排水施設改良						33
27	（主）名古屋環状線ほか	道路排水施設改良						45
28	（国）155号	道路情報装置改良						10

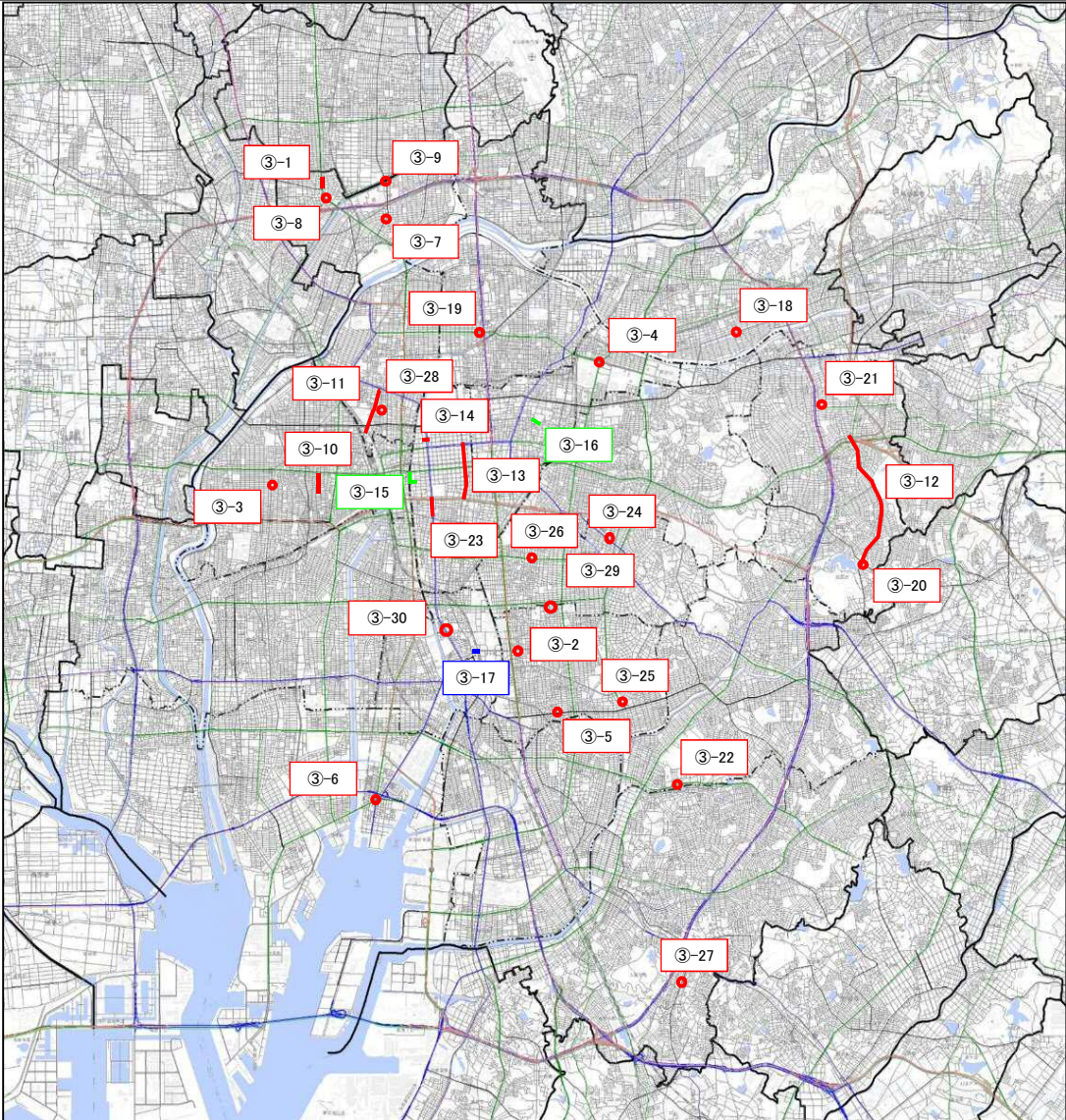
※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	②名古屋市における総合的な道路の老朽化対策
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 （5年間）
	

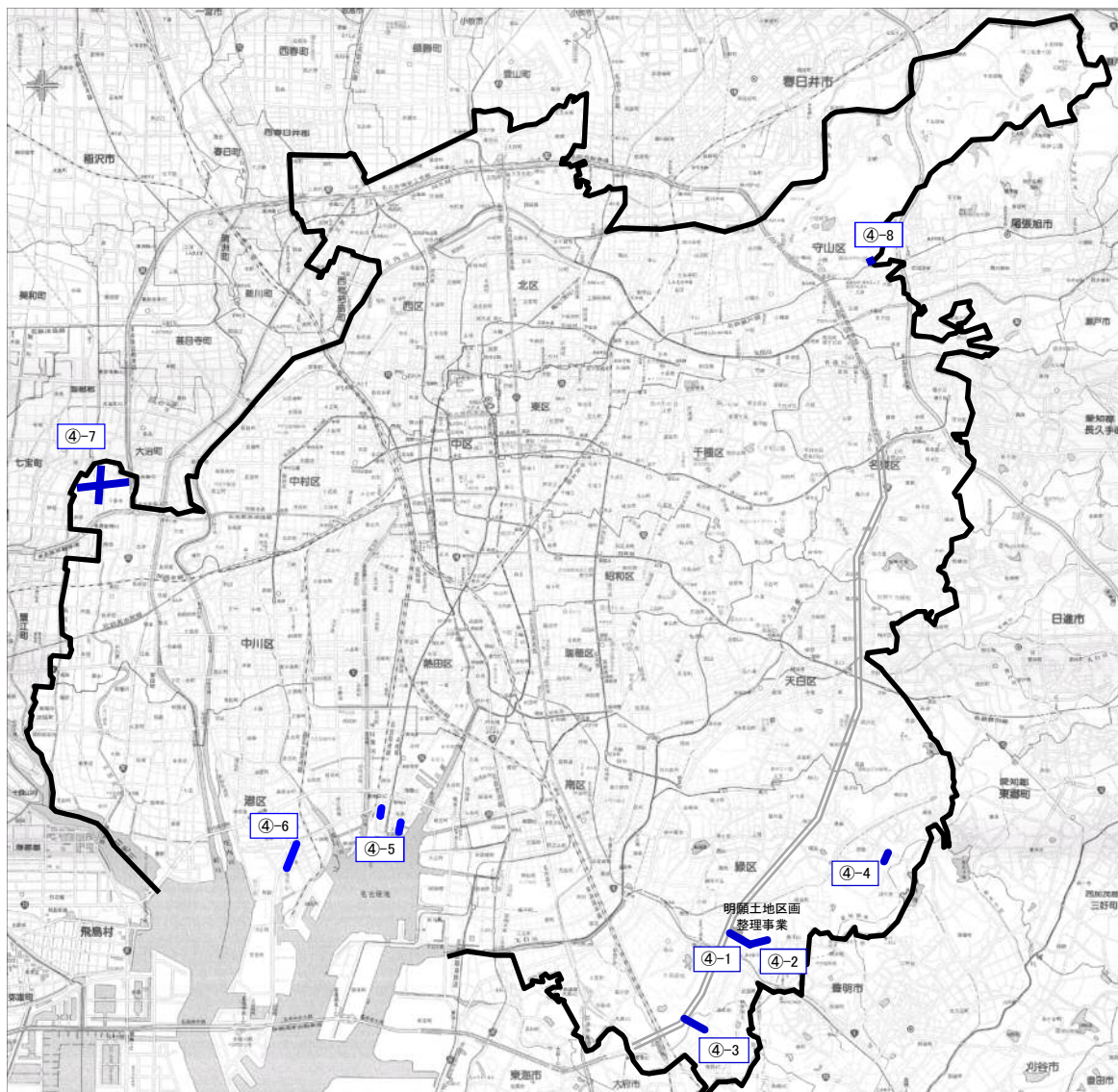
整備計画の名称	③名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備							
整備計画の期間	平成29年度　～　令和03年度　（5年間）							
全体事業費※	4,880百万円							
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H29	H30	H31	R02	R03	
1	（市）平田第3号線ほか	カラー舗装						250
2	（市）豆田町線ほか	カラー舗装						500
3	（市）中村稲永線ほか	カラー舗装等						20
4	（主）名古屋環状線ほか	カラー舗装等						250
5	（県）岩崎名古屋線ほか	カラー舗装等						20
6	（国）154号ほか	カラー舗装等						10
7	（市）平田第1号線ほか	標識整備　4箇所						9
8	（主）名古屋江南線ほか	標識整備　13箇所						31
9	（県）名古屋中環状線ほか	標識整備　9箇所						22
10	（市）名西南北第5号線ほか	歩道整備　11.3km						980
11	（市）西薮下輪之内町線ほか	自転車走行空間　19km						380
12	（県）浅田名古屋線ほか	自転車走行空間　3km						60
13	（市）久屋大通線ほか（都心地区）	自転車駐車場　9,000台						650
14	（市）京町通ほか	自転車駐車場　870台						55
15	（市）木挽町通ほか1路線	電線共同溝　0.32km						50
16	（市）平田黒門町線	電線共同溝　0.34km						90
17	（都）御田線	街路築造　0.13km						250
18	（市）野萩線ほか	標識整備　高速道路ナンバリング						58
19	（主）名古屋環状線ほか	標識整備　高速道路ナンバリング						162
20	（県）浅田名古屋線ほか	標識整備　高速道路ナンバリング						35
21	（国）363号	標識整備　高速道路ナンバリング						5
22	（主）東海橋線ほか	交差点改良　5箇所						200
23	（国）19号ほか	自転車駐車場　680台						34
24	（国）153号ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策（防護						3
25	（主）関田名古屋線ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策（歩道						40
26	（主）山王線ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策（歩道						45
27	（県）東海緑線ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策（歩道						17
28	（市）広井町第5号線ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策（歩道						598

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

[illegible]

整備計画の名称	③名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 （5年間）
	

整備計画の名称	④名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備
整備計画の期間	平成31年度 ～ 令和5年度 （5年間）

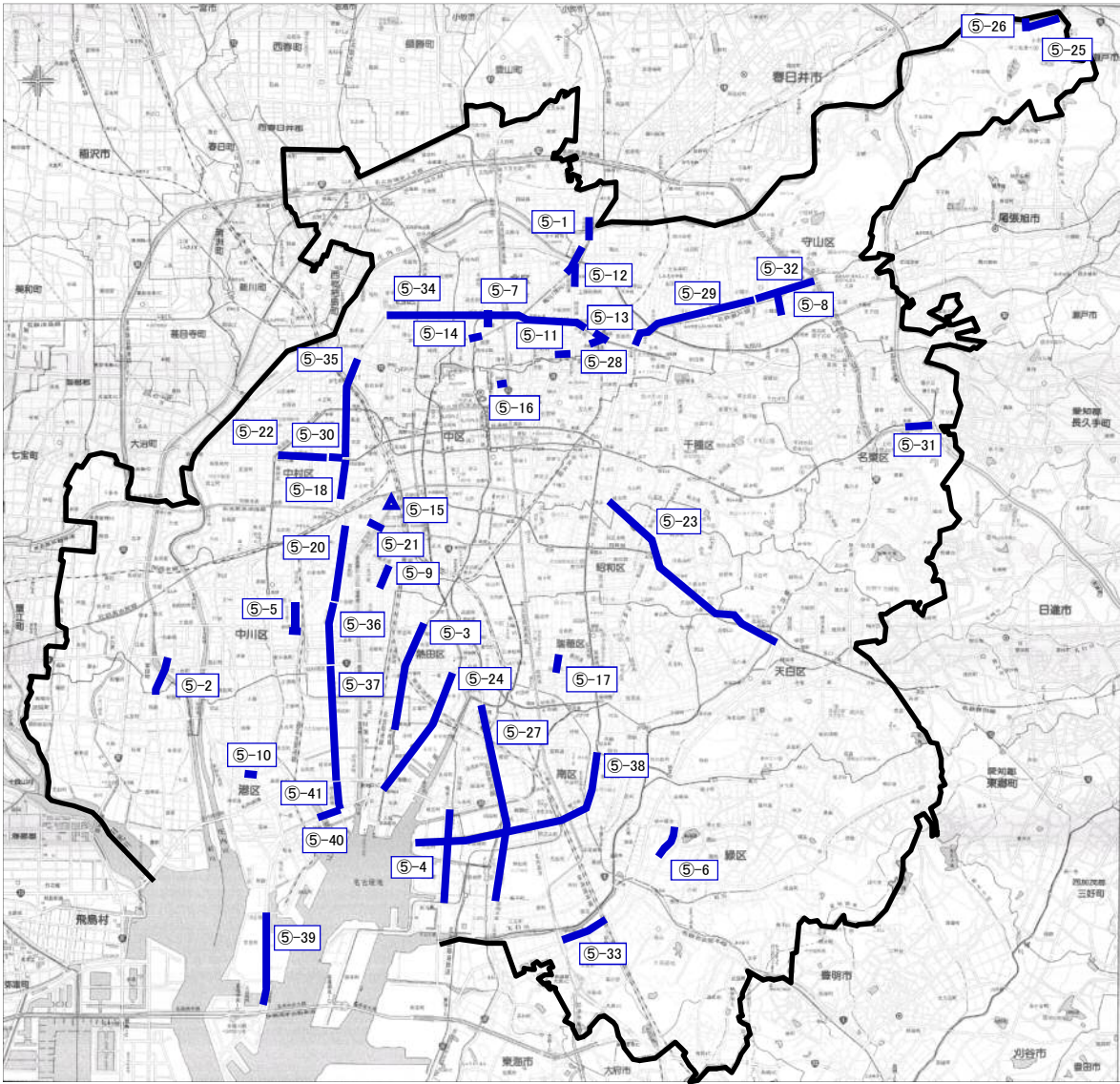


整備計画の名称		⑤名古屋市中における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）						
整備計画の期間		平成28年度　～　令和2年度　（5年間）						
全体事業費※		25,252百万円						
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
1	（都）東志賀町線（水分橋）	街路築造　L=0.82km						4,545
2	（都）万場藤前線（正江橋）	街路築造　L=0.68km						5,431
3	（都）江川線（南部工区）	街路築造　L=2.98km						1,200
4	（都）大津町線	街路築造　L=2.15km						1,661
5	（都）土古町線ほか1	街路築造　L=0.83km						524
6	（都）古鳴海停車場線（乙子山工区）	街路築造　L=0.93km						309
7	（都）光音寺内田橋線	街路築造　L=0.48km						202
8	（都）小幡西山線	街路築造　L=0.52km						1,133
9	（都）日置中野新町線	街路築造　L=1.22km						425
10	（都）戸田荒子線（高木工区）	街路築造　L=0.38km						1,200
11	（都）大杉町線	街路築造　L=0.50km						47
12	（都）東志賀町線ほか1（三階橋）	街路築造　L=1.27km						2,212
13	（都）名古屋環状線（電線共同溝）	街路築造　L=0.34km						40
14	（都）東志賀町線（電線共同溝）	街路築造　L=0.32km						285
15	（主）愛知名駅南線（運河橋）	橋梁架替（耐震）　L=0.04km						2,403
16	（都）新出来町線（電線共同溝）	街路築造　L=0.40km						520
17	（都）高田町線	街路築造　L=0.34km						1,001
18	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（黄金通工区）	街路築造　L=0.98km						731
19	（都）伏見町線（枇杷島橋）	街路築造　L=0.34km						150
20	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（五月通工区）	街路築造　L=2.09km						528
21	（都）小栗橋線（小栗橋）	街路築造　L=0.30km						80
22	（都）広小路線（電線共同溝）（太閤通工区）	街路築造　L=1.20km						25
23	（都）飯田線（電線共同溝）	街路築造　L=5.30km						68
24	（都）梅ノ木線（電線共同溝）（千年工区）	街路築造　L=3.30km						59

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称		⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）						
整備計画の期間		平成28年度　～　令和2年度　（5年間）						
全体事業費※		25,252百万円						
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
25	（都）東谷線（電線共同溝）	街路築造　L=1.40km						18
26	（都）志段味田代町線（電線共同溝）	街路築造　L=0.20km						3
27	（都）伏見町線（電線共同溝）	街路築造　L=4.50km						58
28	（都）葵町線（電線共同溝）	街路築造　L=0.20km						3
29	（都）守山本通線（電線共同溝）（守山工区）	街路築造　L=3.10km						40
30	（都）広小路線（電線共同溝）（稲葉地本通工区）	街路築造　L=2.20km						29
31	（都）広小路線（電線共同溝）（本郷工区）	街路築造　L=0.80km						10
32	（都）守山本通線（電線共同溝）（小幡工区）	街路築造　L=1.40km						18
33	（都）高針大高線（電線共同溝）	街路築造　L=1.40km						18
34	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（北部工区）	街路築造　L=4.68km						60
35	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（栄生工区）	街路築造　L=2.20km						28
36	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（太平通工区）	街路築造　L=1.19km						15
37	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（昭和橋通工区）	街路築造　L=2.60km						59
38	（都）名古屋環状線（電線共同溝）（笠寺工区）	街路築造　L=5.20km						76
39	（都）梅ノ木線（電線共同溝）（野跡工区）	街路築造　L=1.80km						23
40	（都）梅ノ木線（電線共同溝）（築三町工区）	街路築造　L=0.50km						6

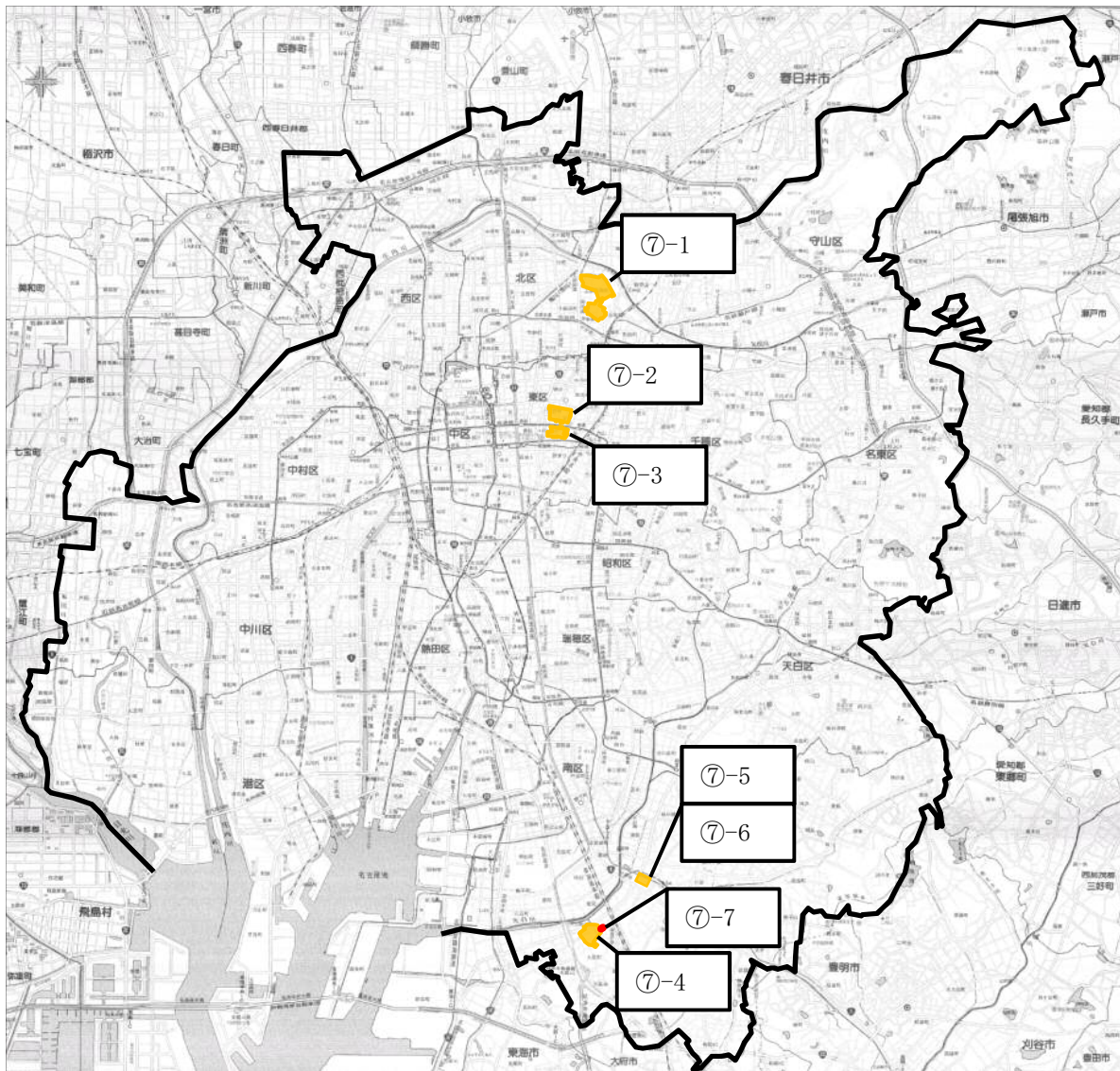
※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）
	

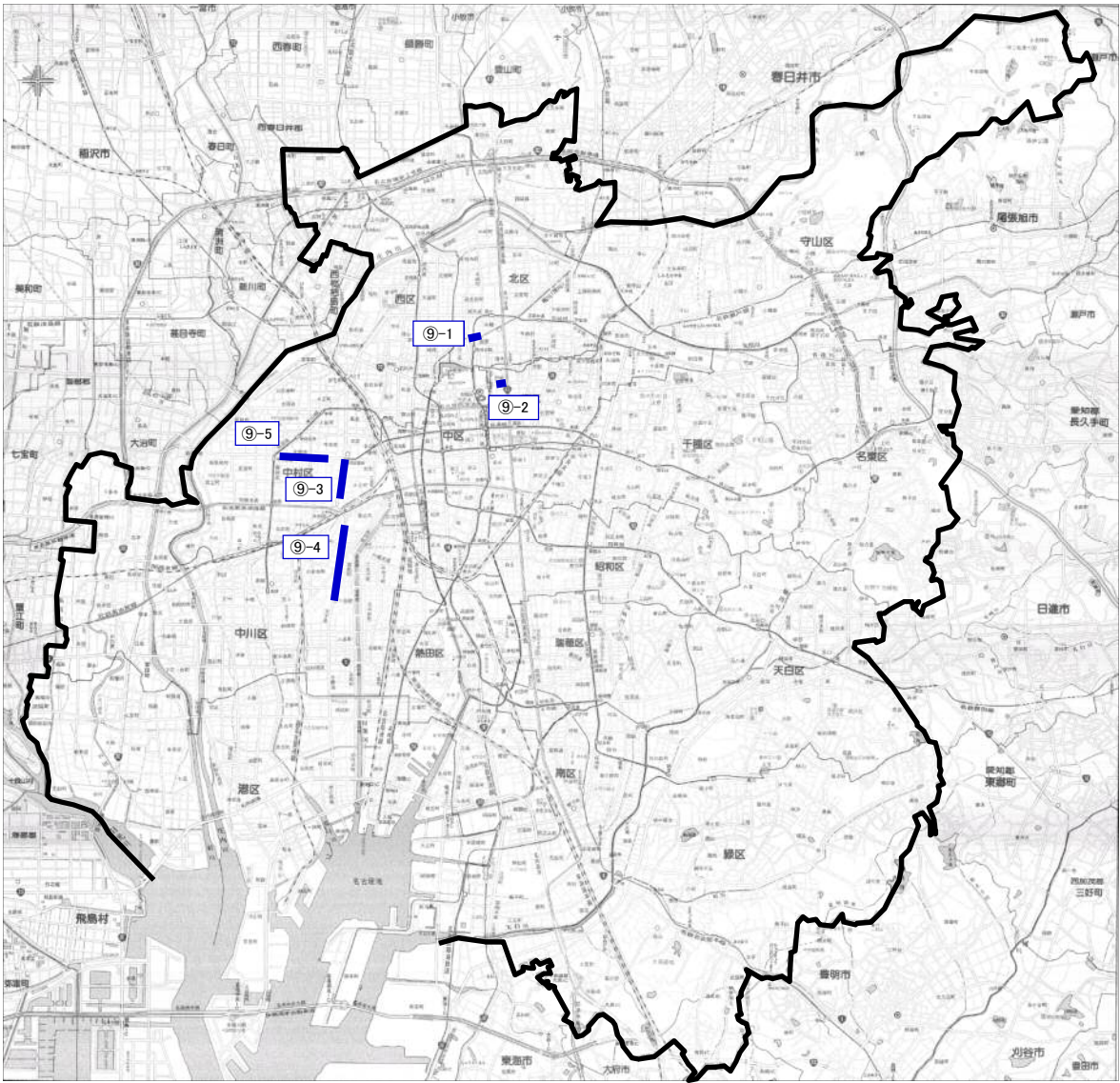
[illegible]

[illegible]

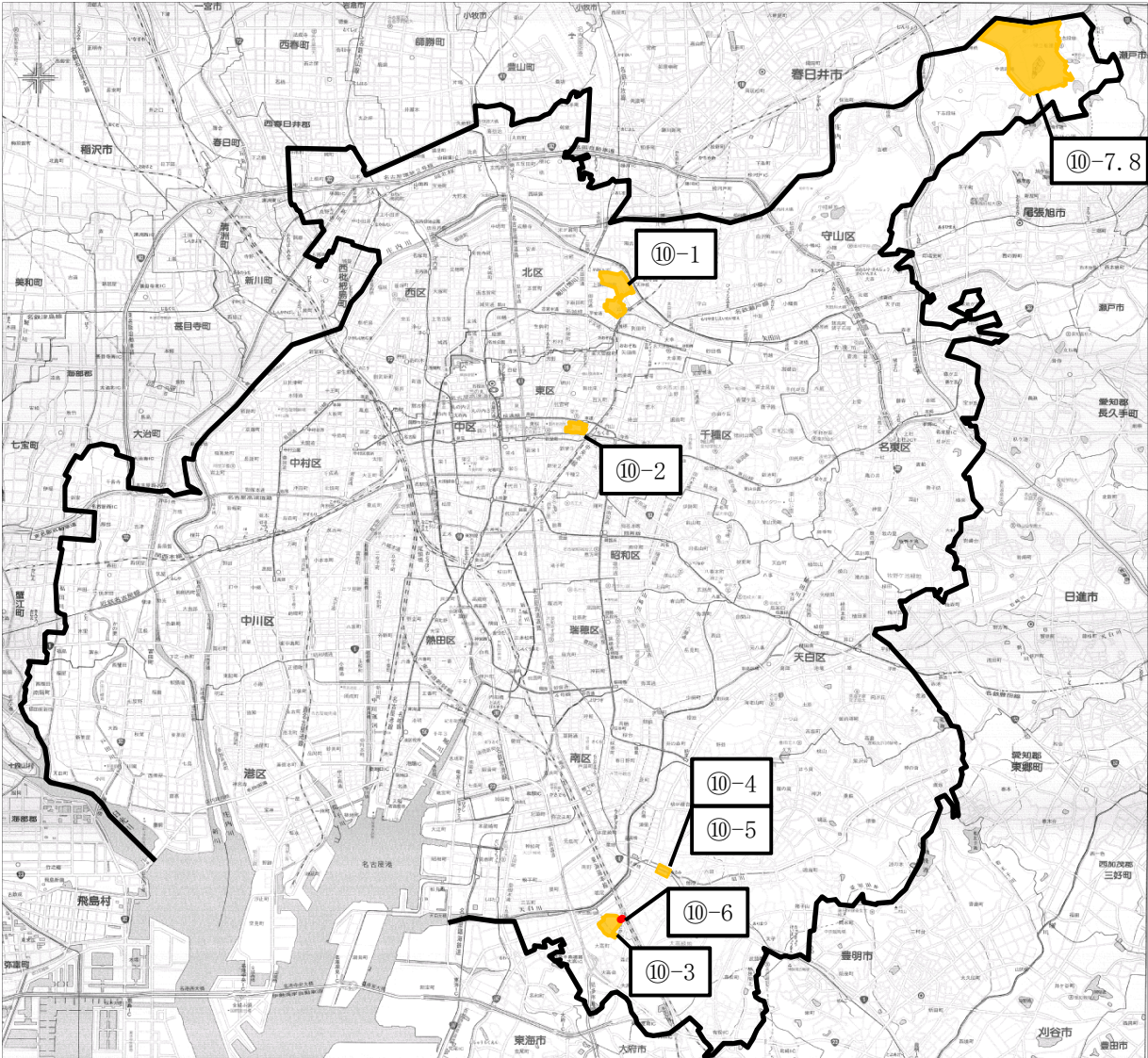
※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	⑦既成市街地における居住環境の向上と防災性の確保
整備計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）
	

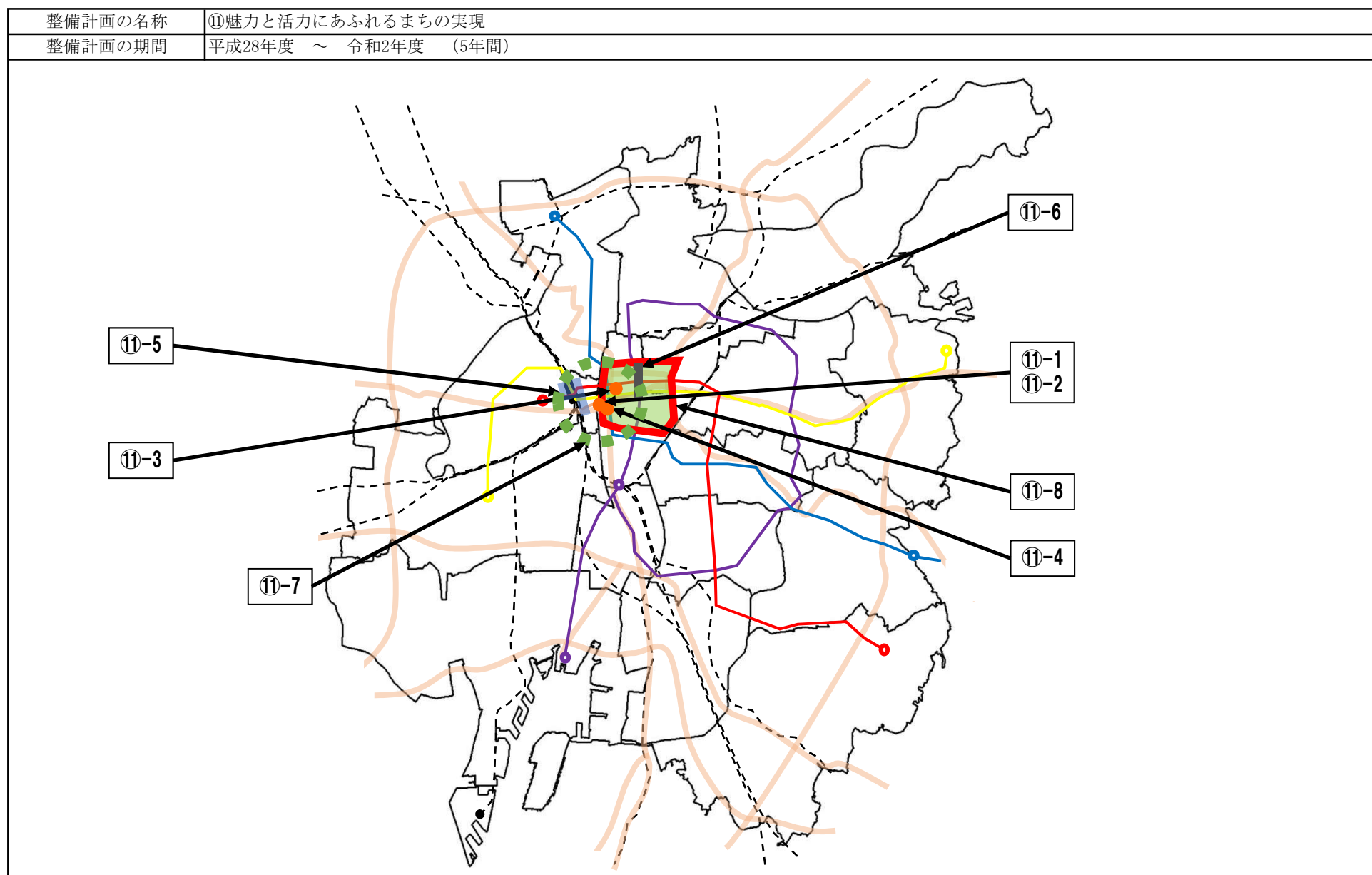
[illegible]

整備計画の名称	⑨名古屋市における無電柱化の推進（防災・安全）（無電柱化推進計画支援）
整備計画の期間	平成31年度（1年間）
	

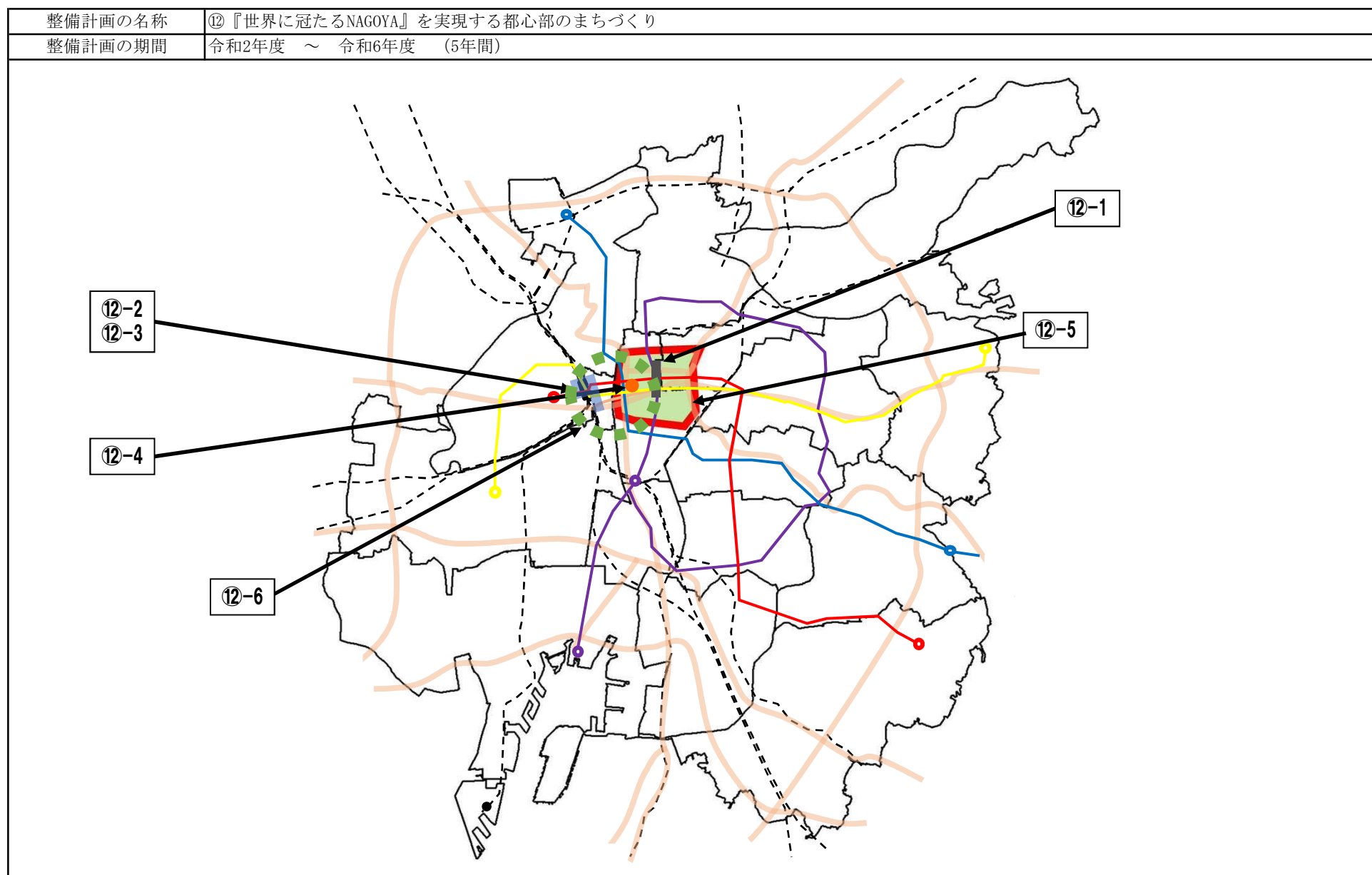
[illegible]

整備計画の名称	⑩市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保
整備計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）
	

[illegible]



[illegible]



[illegible]

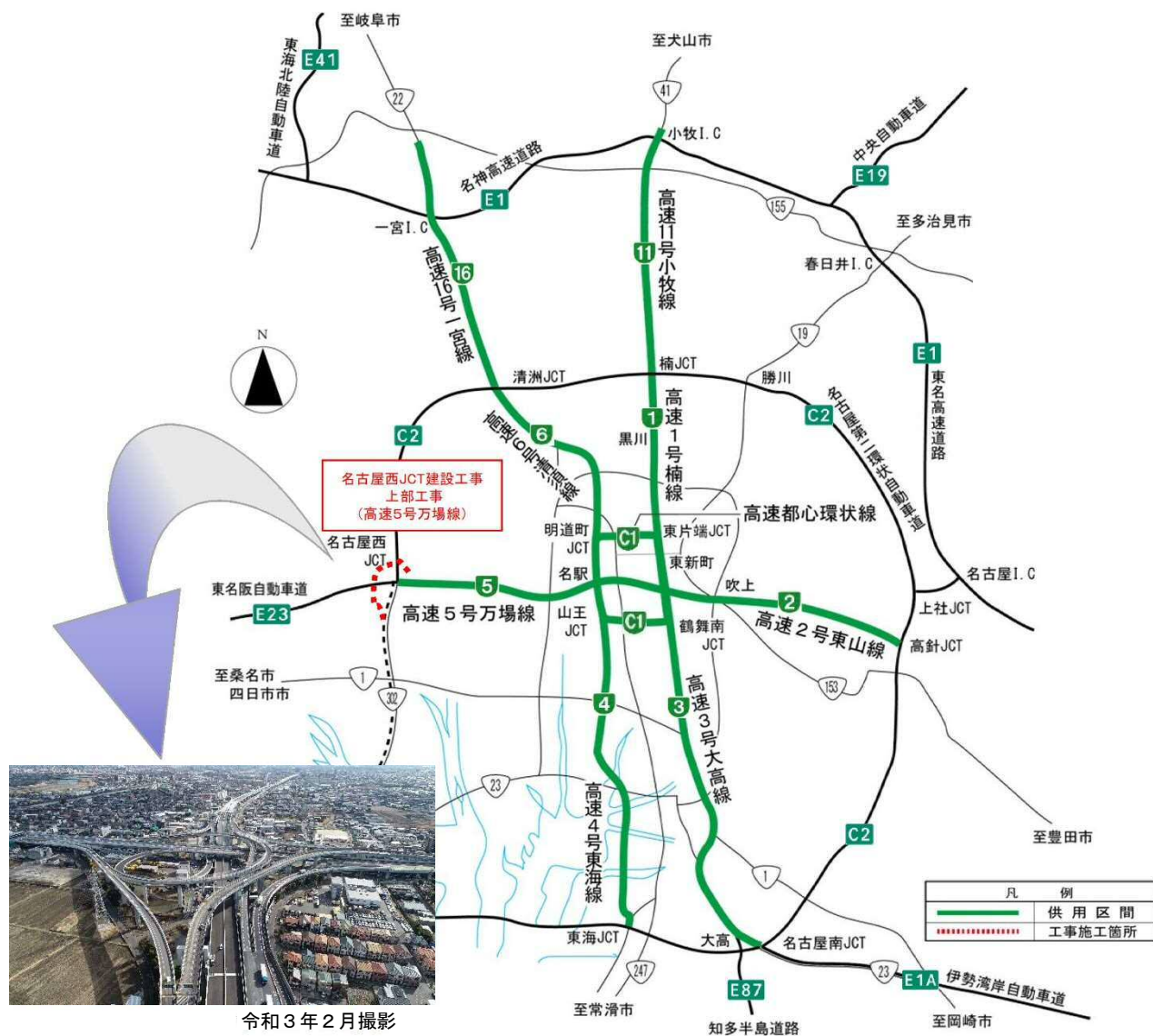
※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	⑬名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）
整備計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）

IV 指定都市高速道路事業

名古屋高速道路の主な取り組みについて、以下に概要をお示しします。

(1) 名古屋西JCT建設工事



完成予定日：令和3年4月30日

(2) 大規模修繕工事

○古い基準で設計された箇所、今後、重大な損傷や第三者に被害を及ぼす損傷に進展し、通行止め等が発生する恐れのある箇所への新たな対策として、主要構造物全体に対して計画的に大規模修繕を実施する。
○大規模修繕の実施により、巨額な費用が掛かる大規模な更新を回避し、構造物の長寿命化を図る。

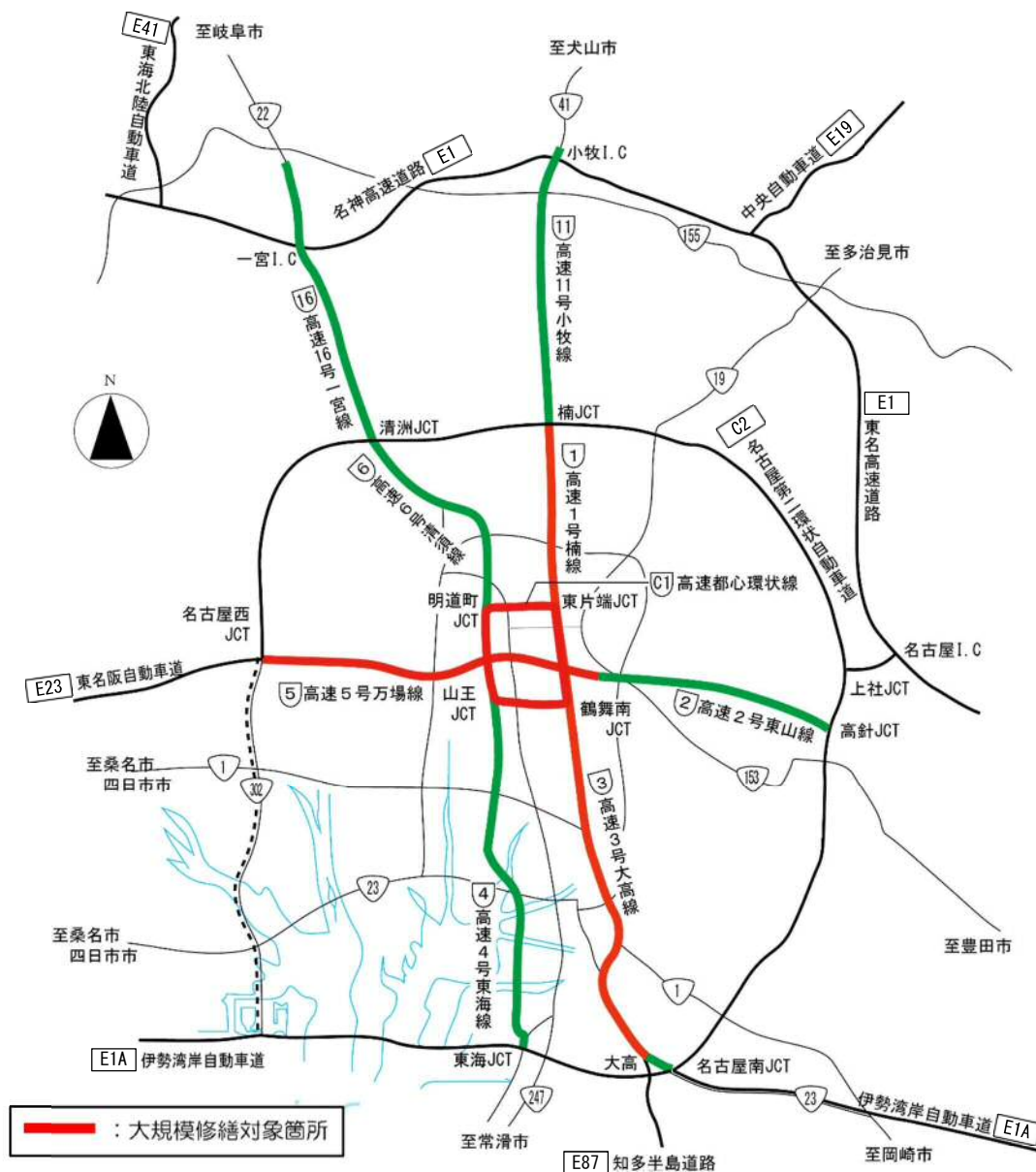
■大規模修繕計画

区分	路線名	延長	概算工事費	事業実施予定年度
大規模修繕※1	高速都心環状線	約37.9km	約1,250億円※2	平成27～41年度 (2015～2029 年度)
	高速1号楠線			
	高速2号東山線			
	高速3号大高線			
	高速5号万場線			

※1： 主要構造物全体を大規模に造り替えることはせず、主要構造物全体に対して大規模な補強・補修を実施することにより、構造物の性能を向上すること。

※2： 概算工事費の他、別途諸経費が必要となります。

■大規模修繕対象箇所



(3) 都心へのアクセス（名駅等）向上の取り組み

① 都心へのアクセス向上の取組み

都心へのアクセス向上を図るため、名古屋駅周辺交通基盤整備方針に示された高速道路出入口の追加・改良等について、関係機関とともに検討を行い事業化に向けて取り組んでいる。

名古屋駅周辺交通基盤整備方針（平成 30 年 3 月 名古屋市策定）

交通施設の配置・整備（高速道路）

内 容

① 高速道路出入口の追加・改良等によるアクセスの改善

- 黄金出入口付近フルIC及び椿町線の改善による駅西側とのアクセス強化、新洲崎JCT出入口設置による駅東方面とのアクセス向上を図ります。
- 新洲崎JCT方面からの接続方法については、名駅通への接続を図ります。なお、名古屋駅周辺ビルへの直結については、リニアの大阪延伸等のタイミングやまちづくりの動向を踏まえ、中長期的な課題として検討します。
- 名古屋駅周辺の改善だけでなく、栄出入口・西渡り線の追加を行うことにより、都心環状線の渋滞緩和を行い、名古屋駅へのよりスムーズなアクセス向上を図ります。

② 名駅通に集中する交通の分散

- 笹島線・椿町線の整備により、交通の円滑化を図ります。

アクセス向上の考え方



② 高速道路ネットワークの更なる充実

都心環状線の渋滞対策や、中部国際空港を始めとする南方面への速達性・利便性の向上等、高速道路ネットワークの更なる充実を図るため、丸田町 JCT における東山線東行きから都心環状線への「南渡り線」について事業化に向けた検討を行い、関係機関等の協議・調整に取り組んでいる。

名古屋高速道路公社 運営会議資料より抜粋（令和元年7月）

1) ネットワークの充実による都心環状線の交通負荷軽減

近年、名古屋高速道路の交通量が増加傾向にあることや、リニア開業による交通量増加に伴い、明道町 JCT や錦橋出口を先頭とした都心環状線の渋滞が増加する見込みとなっています。

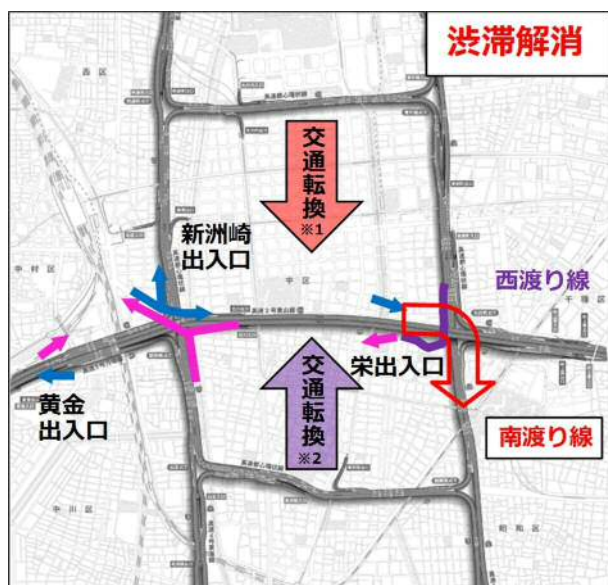
『名古屋駅周辺交通基盤整備方針』に示される出入口と西渡り線と一体で、南渡り線を整備することにより、都心環状線南回り・北回りの交通が東山線へ転換し、都心環状線の渋滞解消が見込まれます。

2) 名古屋駅から中部国際空港を始めとする南方面へのアクセス性向上

南渡り線を整備することにより、名古屋駅を始めとする西方面から南方面へ向かう場合、都心環状線の北回りの走行が不要となり、中部国際空港を始めとする南方面へのアクセス性が向上します。

3) 都心環状線のリダンダンシーの確保

『名古屋駅周辺交通基盤整備方針』に示される丸田町 JCT 西渡り線に加え、南渡り線を整備することにより、都心環状線において修繕工事や交通事故等による交通規制が発生した場合でも代替路が確保され、高速道路ネットワークの強化が図られます。



交通基盤整備方針と南渡り線を整備した場合

- ※1：南渡り線整備により、都心環状線北回り交通が東山線へ転換
- ※2：(参考) 西渡り線整備により、都心環状線南回り交通が東山線へ転換



アクセス向上のイメージ